

各 位

会 社 名 ヤスハラケミカル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 安原 禎二
 (コード番号 4957 東証第二部)
 問合せ先 取締役経営企画部長 敷田 憲治
 (TEL. 0847-45-3530)

特別損失の計上及び業績予想との差異に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 4 四半期において、下記の特別損失の計上を行うとともに、平成 27 年 7 月 24 日に公表しました平成 28 年 3 月期通期の業績予想と下記の通り差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成 28 年 3 月期第 4 四半期において、事業環境の悪化により収益性が低下したホットメルト事業における生産設備等について 680 百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

場所	用途	種類	金額
広島県府中市	工場	建物及び土地等	606 百万円
広島県庄原市	工場	建物及び土地等	74 百万円

2. 業績予想との差異について

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想の差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,850	894	917	592	57 円 68 銭
今回実績値 (B)	11,504	1,033	1,017	64	6 円 23 銭
増減額 (B) - (A)	653	139	100	△528	
増減率 (%)	6.0	15.6	11.0	△89.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	12,084	945	1,102	611	59 円 49 銭

(予想との差異理由)

通期の売上高につきましては、自動車用品用途のテルペンフェノール樹脂が輸出を中心に好調であったこと等により予想を上回りました。また、営業利益、経常利益につきましても償却負担の減少や経費低減等から予想を上回りましたが、当期純利益につきましては上記の特別損失計上により予想を下回りました。

以 上